

第41号 2007.1.22
高知県立幡多けんみん病院発行
〒788-0785
宿毛市山奈町芳奈3-1
TEL (0880)66-2222(代)
<http://www.pref.kochi.jp/~hata>

病院ニュース

News Letter

新春のあいさつ

院長 山下邦康



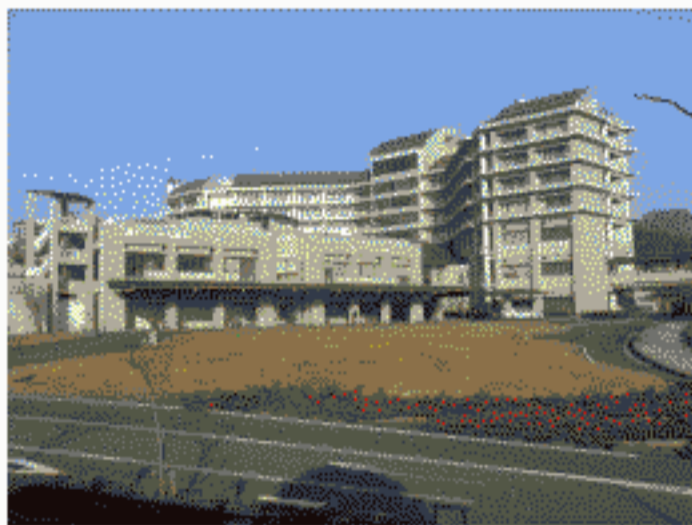
皆様あけましておめでとございます。本年もよろしくお願ひいたします。

幡多けんみん病院も八度目の正月を迎えることが出来ました。四月には開院以来九年目に入ります。幡多地域の医療を充実させたいとの思いで、西南病院と宿毛病院を統合して出来た当院は、地域の皆様、患者さんの皆様に育てられどうにかこれまでやってこられました。

しかしながら現在、全国の、特に、地方の公立病院では大変困難な状況になってきています。皆さんもすでに報道などでご存知かと思いますが、病院に勤務する医師が不足してきています。と言う話をしますと必ずどうしてですかと聞かれて困ってしまいますが、なかなか簡単には説

明できない複雑な問題が絡んでいます。よく平成十六年から始まった新しい研修制度が原因と言われていますが、確かにそれが大きな契機になりましたがそれだけではなく、様々な要因があるのではないかと考えられています。

昨年発刊された「医療崩壊」という本の中で著者の小松さんが書かれている事はかなり核心に迫っているのではないかと思えますが、確かなのはこの二、三年、全国で、クリニックの開業が非常に増えている事です。その他女性の医師が増えてきた事などもあります。解決方法



もなかなか簡単には見つかりそうにありません。

当院でも直接・間接の影響が出てきていますが、医師がこれ以上多忙になるともたなくなるのではと心配しています。幡多のような田舎に来ていただき頑張ってくれている先生方をぜひ皆さんにも暖かく見守り応援していただければと思っています。

病気ひとくちメモ

子宮癌検診について

産婦人科 濱田 史昌

最近、性交渉の若年化に伴い、子宮頸癌の発生年令も若年化しつつあります。そこで、子宮癌検診について述べてみましょう。子宮癌には、大きく分けて「子宮頸癌」と「子宮体癌」の二つの癌があります。一般的に子宮癌検診というと「頸癌検診」のことをいいます。検診は癌を



発見するというより、前癌状態やごくごく初期の段階で癌を発見することが目的です。初期の状態なら子宮を摘出せずに治療することもできます。

子宮頸癌の最も重要な原因は、HPV（ヒト・パピローマ・ウイルス）というウイルスの感染です。このウイルスは性交渉によって感染するといわれています。したがって、年齢に関係なく性交渉の経験があれば、誰にでもHPVに感染する可能性があります。また子宮頸癌になる可能性もあります。

日本では公費による子宮癌検診は三十才以上でしたが、平成十六年より二十才以上に引き下げられました。性交渉の経験、クラミジアやトリコモナスなどの性感染症の既往、月経以外に出血があるなどの方は、積極的に検診を受けることをお勧めします。お気軽に医師にご相談下さい。



部署だより

糖尿病教育入院について

7F病棟

看護師・糖尿病療養指導士

津野 久美子

糖尿病という病気は一生をかけて上手に付き合っていかなければならない病気です。上手く付き合うためには、治療と日常生活の過ごし方が重要であり、何よりも患者様や家族の皆様が主体となり根気よく取り組むことが大切になります。そこで糖尿病という病気と上手に付き合



7F病棟看護師のみなさん

えるように手助けすることを目的としたものが糖尿病教育入院です。

教育入院には医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・臨床検査技師など多くの職種が連携し、患者様に必要な糖尿病の知識や日常生活の注意点、食事・薬や運動、自己血糖測定法など、退院後の日常生活ができるように指導を行っています。私達は患者様の応援団、サポート役です。

今まで本格的な教育や指導を受けた事がない方、興味のある方は、二週間コースと二泊三日コースがありますので、内科外来で医師の診察の時相談してみてください。



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

十二月にいただいたご意見は、接遇についてが三件、施設・療養生活についてが三件等となっ
ています。施設に関するものとして暖房についてのご意見がありましたので、次ページで当院の暖房についてご紹介します。



ご意見の集計

分類	回収月	4-12月
	12月	合計
接遇について	3	39
施設、療養生活について	3	25
事務手続きについて	0	21
病院運営、経営について	0	15
感謝、お褒め	1	12
待ち時間について	0	11
その他	1	3
合計	8	126

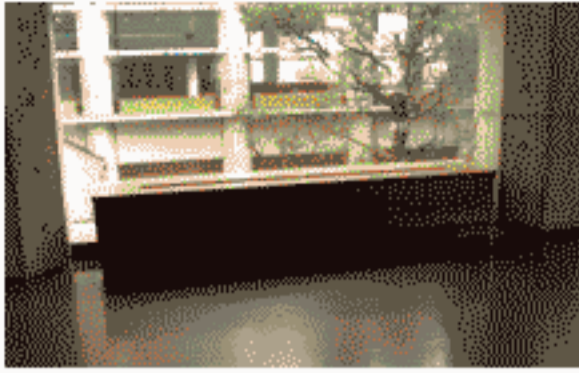
当院の暖房と換気のしくみ

この冬は暖冬のようなのですが一月に入ってからやっと寒い日が多くなってきました。そこで当院の暖房についてご紹介したいと思います。

当院の暖房は広い院内を効率よく暖めるだけでなく、建物内の空気の換気もあわせて行なっています。

院内各所の吹き出し口から温風が吹き出していますが、その温風はお湯を通したパイプによって温められています。熱源は灯油と電気を併用しています。

会計ロビーのガラス壁側に並



2階会計ロビーにある暖房機



2階初診受付前の頭上にある吹き出し口

んでいる四角い木の腰かけはお馴染みだと思えますが、あの腰かけの中にもパイプが通っていて、吸い込んだ空気を温めて吹き出しています。ちなみに夏にはパイプの中に冷水を通すことで冷房になります。この方式の暖房は大小あわせて六〇〇台以上あります。

初診受付前の頭上に大きなダクト（吹き出し口）が二つ開いています。そこから温風が吹き出しています。こちらの方は屋外の新鮮な空気を取り入れています。暖める方式はさっきと同じようにお湯を使いますが、外の冷たい空気を暖めるので大きな空調機を使います。この方式の空調機が院内に約四〇台あ

ります。

屋外の新鮮な空気を入れると同時に、院内の汚れた空気を排気して、暖房と換気を同時にこなしています。外来だけでなく院内のあらゆる場所の暖房と換気を行なっていて、病棟の各病室の空気もこの方式でほとんど新鮮な空気に入れ替わっています。また、温風に湿度を加えることで、快適な空気をつくりだしています。

このように当院の暖房は室温の調節のほかに、換気や調湿の機能もあわせてしています。

からたにやさしい食生活

ごはんを食べよう！

栄養科



毎日私達の食卓に並ぶ「食べ物」は半分以上が輸入に頼っています。日本は世界一輸入が多い国で食料自給率は約40%です。

これは日本人がご飯や野菜を食べる量が減り、肉や油を使った料理を食べるようになってきたことが関係しています。

ご飯を食べないと満腹感が得にくく、間食をします。ご飯を食べる量が少ないとおかずの量が増えるので栄養のバランスが脂質や蛋白質に偏りやすくなります。食の欧米化は高脂血症、糖尿病などの生活習慣病を引き起こしやすいといえます。

ご飯を中心に旬の野菜をたっぷり使ったバランスのよい食事を心掛けましょう。

忙しい毎日の中ではコンビニや弁当、加工食品や外食の利用も多いことでしょう。日々の食生活をもう一度見つめ直して、毎日の食事を健康で豊かなものにしていきたいですね。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

二月研修予定

患者様向け



1日（木）母親学級（妊娠中の栄養／起こりやすい異常）

6日（火）糖尿病教室（インスリン療法／献立の立て方）
＊糖尿病教室は興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください

8日（木）母親学級（小児科のお話し／お産の準備と妊娠体操）

20日（火）糖尿病教室（運動療法／外食・嗜好品について）

22日（木）母親学級（分娩経過と呼吸法／病棟案内・乳房マッサージ）

病院職員向け

13日（火）幡多地区MC研修会

16日（金）輸血研修会

17日（土）看護協会幡多支部看護研究学会

20日（火）クリニカルパス大会

21日（水）幡多消化器疾患研究会

23日（金）幡多循環器懇話会

24日（土）幡多小児科学会

26日（月）MCカンファレンス



12月の統計

外来患者数	15,132人
新外来患者数	2,480人
紹介患者数	358人
新入院患者数	481人
退院患者数	548人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,710人
手術件数	144件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。